

SMBC・日興 ニューワールド債券ファンド (ブラジルリアル)

【運用報告書(全体版)】

第19作成期 (2018年10月13日から2019年4月12日まで)

第 109 期 / 第 110 期 / 第 111 期
決算日2018年11月12日 決算日2018年12月12日 決算日2019年1月15日

第 112 期 / 第 113 期 / 第 114 期
決算日2019年2月12日 決算日2019年3月12日 決算日2019年4月12日

受益者の皆さまへ

当ファンドは投資信託証券に投資することにより、実質的に海外の債券に投資し、安定的な収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2009年10月30日から2024年10月15日まで
運用方針	投資信託証券に投資することにより、実質的に海外の債券に投資し、安定的な収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 エマージング・マーケット・ボンド・プラス・サブ・トラスト (ブラジルリアルクラス) エマージング諸国の企業や政府・政府関係機関等が発行する債券等 マネープール・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■世界的な経済構造の変化から恩恵を受ける企業や国が発行する債券に投資し、金利収入と値上がり益を追求します。 ■原則として米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行います。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■毎月12日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、今後の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

 三井住友DSアセットマネジメント
(旧:三井住友アセットマネジメント)
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

■ 最近 5 作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入 比率	投資信託 証券組入 比率	純資産 総額
		(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率			
第15 作成期		円	円	%	%	%	百万円
	85期(2016年11月14日)	3,843	50	△ 3.3	0.3	97.3	50,719
	86期(2016年12月12日)	4,090	50	7.7	0.3	98.0	54,520
	87期(2017年1月12日)	4,368	50	8.0	0.2	98.1	57,932
	88期(2017年2月13日)	4,443	50	2.9	0.2	98.0	58,006
	89期(2017年3月13日)	4,402	50	0.2	0.2	96.9	56,690
第16 作成期	90期(2017年4月12日)	4,253	50	△ 2.2	0.3	97.7	54,608
	91期(2017年5月12日)	4,404	50	4.7	0.2	97.8	56,671
	92期(2017年6月12日)	4,147	50	△ 4.7	0.3	97.8	53,186
	93期(2017年7月12日)	4,282	50	4.5	0.3	98.0	54,635
	94期(2017年8月14日)	4,220	50	△ 0.3	0.3	97.7	53,507
	95期(2017年9月12日)	4,357	50	4.4	0.3	97.7	54,089
第17 作成期	96期(2017年10月12日)	4,329	50	0.5	0.3	97.7	53,295
	97期(2017年11月13日)	4,179	50	△ 2.3	0.3	95.8	50,879
	98期(2017年12月12日)	4,117	50	△ 0.3	0.3	97.7	49,895
	99期(2018年1月12日)	4,122	50	1.3	0.3	97.7	49,246
	100期(2018年2月13日)	3,822	50	△ 6.1	0.3	95.4	44,803
	101期(2018年3月12日)	3,787	50	0.4	0.2	97.8	43,976
第18 作成期	102期(2018年4月12日)	3,594	50	△ 3.8	0.1	97.8	41,293
	103期(2018年5月14日)	3,380	50	△ 4.6	0.4	97.8	38,157
	104期(2018年6月12日)	3,243	50	△ 2.6	0.4	97.9	35,883
	105期(2018年7月12日)	3,132	30	△ 2.5	0.4	97.6	33,991
	106期(2018年8月13日)	3,096	30	△ 0.2	0.4	97.5	32,903
	107期(2018年9月12日)	2,815	30	△ 8.1	0.5	97.6	29,410
第19 作成期	108期(2018年10月12日)	3,134	30	12.4	0.1	97.6	31,928
	109期(2018年11月12日)	3,137	30	1.1	0.1	97.5	31,836
	110期(2018年12月12日)	2,972	30	△ 4.3	0.3	97.5	29,813
	111期(2019年1月15日)	3,026	30	2.8	0.5	97.5	30,192
	112期(2019年2月12日)	3,078	30	2.7	0.4	97.5	30,369
	113期(2019年3月12日)	3,054	30	0.2	0.5	97.6	30,018
	114期(2019年4月12日)	3,085	30	2.0	0.1	95.8	29,531

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当 作 成 期 中 の 基 準 価 額 と 市 況 等 の 推 移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率		
第109期	(期 首) 2018年10月12日	3,134	—	0.1	97.6
	10月末	3,154	0.6	0.1	96.5
	(期 末) 2018年11月12日	3,167	1.1	0.1	97.5
第110期	(期 首) 2018年11月12日	3,137	—	0.1	97.5
	11月末	3,030	△3.4	0.1	96.6
	(期 末) 2018年12月12日	3,002	△4.3	0.3	97.5
第111期	(期 首) 2018年12月12日	2,972	—	0.3	97.5
	12月末	2,912	△2.0	0.1	96.3
	(期 末) 2019年1月15日	3,056	2.8	0.5	97.5
第112期	(期 首) 2019年1月15日	3,026	—	0.5	97.5
	1月末	3,099	2.4	0.1	96.5
	(期 末) 2019年2月12日	3,108	2.7	0.4	97.5
第113期	(期 首) 2019年2月12日	3,078	—	0.4	97.5
	2月末	3,135	1.9	0.4	96.5
	(期 末) 2019年3月12日	3,084	0.2	0.5	97.6
第114期	(期 首) 2019年3月12日	3,054	—	0.5	97.6
	3月末	2,971	△2.7	0.1	97.2
	(期 末) 2019年4月12日	3,115	2.0	0.1	95.8

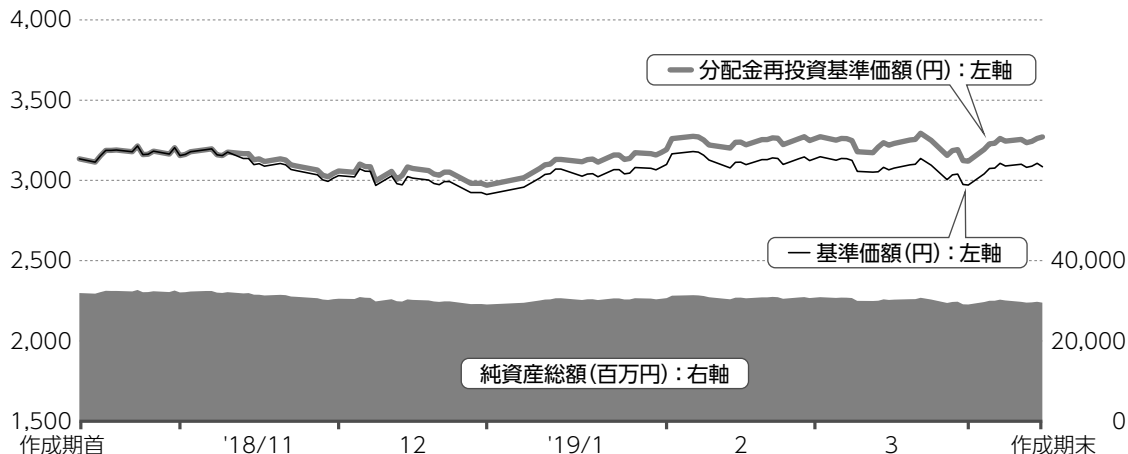
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2018年10月13日から2019年4月12日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	3,134円
作成期末	3,265円 (当作成期分配金180円(税引前)込み)
騰落率	+4.4% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

基準価額の主な変動要因（2018年10月13日から2019年4月12日まで）

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じてエマージング諸国の企業や政府、政府関係機関等が発行する米ドル建て債券およびエマージング諸国の成長から恩恵を受けると考えられる先進国の企業や政府、政府関係機関等が発行する債券に投資しました。組み入れている投資信託証券では原則として米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行いました。

上昇要因

- 米国の利上げ観測が後退したことから投資家心理が改善し、新興国国債市場および新興国社債市場が上昇したこと

下落要因

- 年金改革法案の審議を巡る不透明感や、前大統領が汚職容疑で逮捕されたことなどを背景に、作成期を通じてブラジルリアルが対円で下落したこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	作成期末組入比率
エマージング・マーケット・ボンド・プラス・サブ・トラスト(ブラジルリアルクラス)	外国債券	95.8%
マネープール・マザーファンド	短期金融資産	0.5%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について（2018年10月13日から2019年4月12日まで）

新興国国債、新興国社債、先進国社債市場は上昇しました。ブラジルリアルは対円で下落しました。

新興国国債

当作成期の新興国国債市場は、米国国債利回りの低下（価格は上昇）に加え、スプレッド（米国国債に対する上乗せ金利）が縮小したことから、トータル・リターンは米ドルベースで7.3%上昇*しました。

作成期前半は、中国通信機器大手の幹部逮捕（12月）を受けた米中関係の悪化懸念や政府機関の閉鎖などを巡る米国の政治不安などから投資家のリスク選好度が低下し、スプレッドは拡大しました。

作成期後半では、1月にFRB（米連邦準備制度理事会）がハト派（景気を重視する立場）的な姿勢を示したことや堅調な1月の米雇用統計や米中通商交渉の進展期待などから投資家心理が改善、スプレッドは縮小しました。

作成期を通してみれば、スプレッドは縮小しました。国別では、セネガルやエクアドル、ベネズエラなどが相対的に堅調な一方、オマーンやアルゼンチン、リトアニアなどは市場全体に劣後しました。

* J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）

新興国社債

当作成期の新興国社債市場は、市場全体のリターンが米ドルベースで6.0%上昇*しました。新興国国債市場と同様に、10月から11月にかけて下落しましたが、1月以降は作成期末まで上昇を続けました。

地域別では、欧州やアフリカが上昇しました。セクター別では、不動産が最も堅調なパフォーマンスとなりました。個別銘柄については、トルコの商業銀行フィババンカやトルコの銀行であるオルタナティブバンクなどが大きく上昇しました。一方、カザフスタンで石油・ガス関連事業を営むノストラム・オイル・アンド・ガスやメキシコの石油化学企業イデサなどが下落しました。

* J Pモルガン・コーポレート・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・ブロード・ダイバーシファイド（米ドルベース）

先進国社債

当作成期のトータル・リターンは米ドルヘッジベースで5.3%上昇*しました。社債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）はやや拡大したものの、国債利回りが低下したこと

からトータル・リターンはプラスとなりました。米金融当局のハト派的な姿勢などが好感されました。

*ブルムバーグ・パークレイズ・グローバル・アグリゲート・コーポレート・インデックス(米ドルヘッジベース)

為替市場

●ブラジルリアル

ブラジルリアルは、年金改革法案の審議を巡る不透明感などが嫌気されたほか、前大統領が汚職容疑で逮捕(3月)されたことも改革の進展に影響を及ぼすとの懸念が高まり、下落しました。

当作成期のブラジルリアル・円は作成期首29円67銭から作成期末28円95銭と0円72銭のブラジルリアル安・円高となりました。

ポートフォリオについて(2018年10月13日から2019年4月12日まで)

当ファンド

「エマージング・マーケット・ボンド・プラス・サブ・トラスト(ブラジルリアルクラス)」および「マネープール・マザーファンド」を主要投資対象とし、「エマージング・マーケット・ボンド・プラス・サブ・トラスト(ブラジルリアルクラス)」の高位組入れを維持しました。

エマージング・マーケット・ボンド・プラス・サブ・トラスト (ブラジルリアルクラス)

(ブラジルリアルクラス)をシェアクラスとして含む「エマージング・マーケット・ボンド・プラス・サブ・トラスト」の当作成期中のリターンは債券部分のリターンが6.8%の

上昇となりました。直近月末時点(2019年3月28日)の組入比率については、新興国国債への組入比率を概ね39%、新興国社債への組入比率を概ね55%、その他債券への組入比率を概ね2%、現金等への組入比率を概ね3%としています。

当作成期間のパフォーマンスを国別に分析すると、エクアドルやスリランカの国別選択や銘柄選択などがパフォーマンスにプラス寄与となった一方、アルゼンチンやオマーンの国別選択や銘柄選択などがパフォーマンスにマイナス寄与となりました。

また、作成期中は概ね100%の米ドル売り・ブラジルリアル買いの為替取引を行いました。結果、ブラジルリアルクラスは5.0%上昇しました。

マネープール・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2018年10月13日から2019年4月12日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2018年10月13日から2019年4月12日まで)

第109期から第114期までの1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、それぞれ30円といたしました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
当期分配金	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率)	(0.947%)	(0.999%)	(0.982%)	(0.965%)	(0.973%)	(0.963%)
当期の収益	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	2,102	2,127	2,148	2,168	2,193	2,216

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

市場見通し

F R B がハト派色を強めたことによる米金利上昇懸念の後退や中国当局による経済政策

などは、新興国国債市場の下支えになるとみえています。また、昨年の同市場の下落により、他のスプレッドセクター対比でバリュエーション面での魅力が高まったとの見方もして

います。引き続き新興国の経済成長の潜在力の高さ、堅固な対外収支構造などが中長期的な支援材料になると考えます。このようなことから、新興国債については引き続き国別選択の重要性が増していると考え、特に財政健全化に積極的に取り組む国やバリュエーションが割安な国などを選好しています。

新興国社債の市場については、米国トランプ政権の政策動向、主要国中央銀行の金融政策、中国経済の動向などが与える影響を注視する必要があります。また、商品市況や新興国通貨の動向、各国のそれぞれが抱える政治・経済の問題が個別企業、各セクターの事業環境に与える影響を見極めることが重要であると考えます。しかし、健全なファンダメンタルズ(基礎的条件)などを背景に、同市場に対して引き続き前向きな見方をしています。

先進国社債市場については、特に米国社債に対してポジティブな見方を維持しています。ただし年初来のスプレッドの縮小に伴い、足もとの水準から広範にスプレッドが縮小する余地は限定的とみています。

●ブラジルリアル

引き続きマクロ経済状況に加え、新政権の政策、特に年金改革を巡る今後の動向について注視する必要があるものの、高金利通貨であることやバリュエーション、足元の投資家のリスク選好度の改善などが支援材料になると考えています。

運用方針

●当ファンド

「エマージング・マーケット・ボンド・プラス・サブ・トラスト(ブラジルリアルクラス)」および「マネープール・マザーファンド」を主要投資対象とし、安定的な収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行う方針です。

●エマージング・マーケット・ボンド・プラス・サブ・トラスト(ブラジルリアルクラス)

市場見通しに基づき、引き続き主に新興国の国債と社債に投資を行います。銘柄選択では、経済構造の変化から恩恵を受ける企業や国が発行する債券に投資を行います。また、原則として米ドル売り・ブラジルリアル買いの為替取引を行います。

●マネープール・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

合併について

三井住友アセットマネジメント株式会社は、2019年4月1日に大和住銀投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三井住友DSアセットマネジメント株式会社に変更しました。

約款変更について

委託会社の合併に伴う商号変更および電子公告アドレスの変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
(適用日：2019年4月1日)

■ 1万口当たりの費用明細（2018年10月13日から2019年4月12日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	16円	0.536%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数）
（投信会社）	(4)	(0.145)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(11)	(0.377)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(0)	(0.013)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.001)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	16	0.539	

期中の平均基準価額は3,050円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「包括利益計算書」をご覧ください。

■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2018年10月13日から2019年4月12日まで）

投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
		口	千円	口	千円
国内	エマージング・マーケット・ボンド・プラス・サブ・トラスト（ブラジルリアルクラス）	1,234,354	2,510,000	1,733,975	3,530,000
	合計	1,234,354	2,510,000	1,733,975	3,530,000

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 利害関係人との取引状況等（2018年10月13日から2019年4月12日まで）

利害関係人との取引状況

S M B C ・ 日興ニューワールド債券ファンド（ブラジルリアル）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

S M B C ・ 日 興 ニ ュ ー ワ ー ル ド 債 券 フ ァ ン ド (プ ラ ジ ル レ ア ル)

マネープール・マザーファンド

区 分	当 作 成 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公 社 債	百万円 38,792	百万円 2,419	% 6.2	百万円 -	百万円 -	% -
現 先 取 引 (公 社 債)	16,273,492	512,318	3.1	16,273,434	512,316	3.1

※平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年10月13日から2019年4月12日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細(2019年4月12日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	作成期首	作 成 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
エマージング・マーケット・ボンド・プラス・サブ・トラスト (ブラジルリアルクラス)	□	□	千円	%
	14,576,303	14,076,681	28,294,129	95.8
合 計	14,576,303	14,076,681	28,294,129	95.8

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(2) 親投資信託残高

種 類	作成期首	作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
マ ネ ー プ ー ル ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 144,000	千口 144,000	千円 144,388

※マネープール・マザーファンドの作成期末の受益権総口数は422,194,646千口です。

※単位未満は切捨て。

■ 投資信託財産の構成

(2019年4月12日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	28,294,129	94.6
マ ネ ー プ ー ル ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	144,388	0.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,458,265	4.9
投 資 信 託 財 産 総 額	29,896,782	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年11月12日)(2018年12月12日)(2019年1月15日)(2019年2月12日)(2019年3月12日)(2019年4月12日)

項 目	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末	第114期末
(A) 資 産	32,615,696,568円	30,200,157,381円	30,556,116,147円	30,753,116,227円	31,024,131,371円	29,896,782,180円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,425,923,225	981,294,697	976,819,260	995,350,579	1,589,378,616	1,458,263,959
投 資 信 託 受 益 証 券 (評 価 額)	31,045,326,943	29,074,430,684	29,434,879,287	29,613,348,048	29,290,349,555	28,294,129,421
マ ネ ー プ ー ル ・ マ ザ ー フ ァ ン ド (評 価 額)	144,446,400	144,432,000	144,417,600	144,417,600	144,403,200	144,388,800
(B) 負 債	779,242,872	386,252,324	363,757,439	383,540,995	1,005,450,989	365,006,778
未 払 金	350,000,000	-	-	-	610,000,000	-
未 払 収 益 分 配 金	304,470,996	300,933,473	299,293,962	296,029,481	294,840,322	287,224,169
未 払 解 約 金	95,131,036	57,895,283	34,484,174	62,017,977	75,221,903	50,347,249
未 払 信 託 報 酬	29,430,995	27,214,356	29,830,591	25,318,536	25,249,484	27,271,513
未 払 利 息	83	2,444	2,783	2,850	3,080	-
そ の 他 未 払 費 用	209,762	206,768	145,929	172,151	136,200	163,847
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	31,836,453,696	29,813,905,057	30,192,358,708	30,369,575,232	30,018,680,382	29,531,775,402
元 本	101,490,332,179	100,311,157,829	99,764,654,331	98,676,493,811	98,280,107,570	95,741,389,849
次 期 繰 越 損 益 金	△ 69,653,878,483	△ 70,497,252,772	△ 69,572,295,623	△ 68,306,918,579	△ 68,261,427,188	△ 66,209,614,447
(D) 受 益 権 総 口 数	101,490,332,179口	100,311,157,829口	99,764,654,331口	98,676,493,811口	98,280,107,570口	95,741,389,849口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	3,137円	2,972円	3,026円	3,078円	3,054円	3,085円

※当作成期における作成期首元本額101,866,579,358円、作成期中追加設定元本額4,504,841,755円、作成期中一部解約元本額10,630,031,264円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2018年10月13日 至2018年11月12日) (自2018年11月13日 至2018年12月12日) (自2018年12月13日 至2019年1月15日) (自2019年1月16日 至2019年2月12日) (自2019年2月13日 至2019年3月12日) (自2019年3月13日 至2019年4月12日)

項 目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
(A) 配 当 等 取 益	558,143,216円	572,679,282円	530,310,177円	514,429,190円	556,391,227円	536,106,436円
受 取 配 当 金	558,148,355	572,708,085	530,341,396	514,466,629	556,428,315	536,138,910
支 払 利 息	△ 5,139	△ 28,803	△ 31,219	△ 37,439	△ 37,088	△ 32,474
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 202,105,401	△ 1,893,201,488	340,194,244	311,204,380	△ 466,774,013	66,077,389
売 買 益	3,652,104	17,458,924	348,178,518	318,447,379	9,803,931	78,515,618
売 買 損	△ 205,757,505	△ 1,910,660,412	△ 7,984,274	△ 7,242,999	△ 476,577,944	△ 12,438,229
(C) 信 託 報 酬 等	△ 29,632,023	△ 27,386,665	△ 30,002,017	△ 25,474,358	△ 25,385,684	△ 27,435,360
(D) 当 期 損 益 (A+B+C)	326,405,792	△ 1,347,908,871	840,502,404	800,159,212	64,231,530	574,748,465
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△33,454,939,928	△32,814,191,678	△34,048,101,103	△32,998,455,329	△32,064,948,282	△31,239,752,170
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△36,220,873,351	△36,034,218,750	△36,065,402,962	△35,812,592,981	△35,965,870,114	△35,257,386,573
(配 当 等 相 当 額)	(5,465,121,936)	(5,511,066,300)	(5,585,861,798)	(5,593,296,514)	(5,718,193,547)	(5,679,164,352)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△41,685,995,287)	(△41,545,285,050)	(△41,651,264,760)	(△41,405,889,495)	(△41,684,063,661)	(△40,936,550,925)
(G) 計 (D + E + F)	△69,349,407,487	△70,196,319,299	△69,273,001,661	△68,010,889,098	△67,966,586,866	△65,922,390,278
(H) 収 益 分 配 金	△ 304,470,996	△ 300,933,473	△ 299,293,962	△ 296,029,481	△ 294,840,322	△ 287,224,169
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△69,653,878,483	△70,497,252,772	△69,572,295,623	△68,306,918,579	△68,261,427,188	△66,209,614,447
追 加 信 託 差 損 益 金 (配 当 等 相 当 額)	(5,465,121,987)	(5,511,066,315)	(5,585,861,820)	(5,593,296,524)	(5,718,193,582)	(5,679,164,368)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△41,685,995,338)	(△41,545,285,065)	(△41,651,264,782)	(△41,405,889,505)	(△41,684,063,696)	(△40,936,550,941)
分 配 準 備 積 立 金	15,874,768,909	15,825,315,876	15,847,534,842	15,809,602,468	15,836,873,974	15,543,605,649
繰 越 損 益 金	△49,307,774,041	△50,288,349,898	△49,354,427,503	△48,303,928,066	△48,132,431,048	△46,495,833,523

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
(a) 費用控除後の配当等収益	528,530,791円	545,307,471円	512,048,815円	498,569,369円	531,018,602円	511,694,219円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	—	—	—	—	—	—
(c) 収益調整金	5,465,121,987	5,511,066,315	5,585,861,820	5,593,296,524	5,718,193,582	5,679,164,368
(d) 分配準備積立金	15,650,709,114	15,580,941,878	15,634,779,989	15,607,062,580	15,600,695,694	15,319,135,599
(e) 分配可能額(a+b+c+d)	21,644,361,892	21,637,315,664	21,732,690,624	21,698,928,473	21,849,907,878	21,509,994,186
1万口当たり分配可能額	2,132	2,157	2,178	2,198	2,223	2,246
(f) 分配金額	304,470,996	300,933,473	299,293,962	296,029,481	294,840,322	287,224,169
1万口当たり分配金額(税引前)	30	30	30	30	30	30

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
	30円	30円	30円	30円	30円	30円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	エマージング・マーケット・ボンド・プラス・サブ・トラスト（ブラジルリアルクラス）	
形態	ケイマン籍外国投資信託（円建て）	
主要投資対象	エマージング諸国の企業や政府・政府関係機関等が発行する債券等	
運用の基本方針	主にエマージング諸国の企業や政府・政府関係機関等が発行する米ドル建て債券等への分散投資を行うことにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行うことを目的とします。 原則、保有する債券の平均格付けはBBB-格以上を維持することに努めます。ただし、市場環境によってはBBB-格を下回ることがあります。	
為替取引等	原則として米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行います。	
ベンチマーク	ありません。	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地通貨建て債券への投資割合は、純資産総額の10%以内とします。ただし、先進国の企業や政府・政府関係機関等が発行する債券はこの限りではありません。米ドル建て以外の債券へ投資した場合は、原則、当該債券通貨売り、米ドル買いの為替取引を行います。 ・ 単一発行体の証券への投資割合は、純資産総額の10%以内とします。ただし、政府・政府関係機関等が発行する証券はこの限りではありません。 ・ マネー・マーケット・ファンドや類似ファンドへの投資は、純資産総額の5%以内とします。 ・ 有価証券の空売りは行わないものとします。 ・ 純資産総額の10%を超える借入れは行わないものとします。 ・ 流動性の乏しい証券への投資割合は、取得時において純資産総額の10%以内とします。 ・ 通常の状況において、日本において有価証券に属する証券に純資産総額の50%以上を投資します。 	
決算日	原則として毎年3月31日	
信託期間	無期限	
分配方針	原則として、毎月4日に分配を行う方針。	
運用報酬	純資産総額500百万米ドルまで	年0.65%
	同500百万米ドル超10億米ドルまで	年0.66%
	同10億米ドル超	年0.67%
管理およびその他の費用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理事務および保管報酬： <ul style="list-style-type: none"> 純資産総額500百万米ドルまで 年0.04% 同500百万米ドル超10億米ドルまで 年0.03% 同10億米ドル超 年0.02% ・ 受託報酬： 年0.01% ・ ファンドの設立、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。その他の費用・手数料については、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。 	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
スイング・プライス	ファンドの買付け、売却がポートフォリオに重要な影響を与えると考えられる場合、予想される取引スプレッド、コスト、その他の要因を考慮して、その売買価格が調整されることがあります。	
投資顧問会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー	
副投資顧問会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社	
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。	

以下には、「エマージング・マーケット・ボンド・プラス・サブ・トラスト（ブラジルリアルクラス）」をシェアクラスとして含む「エマージング・マーケット・ボンド・プラス・サブ・トラスト」の情報を、委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

■ 包括利益計算書（2017年4月1日から2018年3月31日まで）

（単位：米ドル）

利益	
受取利息	34,812,612
配当収入	231,576
損益を通じて公正価値評価する金融資産および金融負債による純実現利益（損失）	
投資有価証券	14,027,733
先物契約	601,106
外貨	25,427,416
スワップ契約	(1,260,708)
損益を通じて公正価値評価する金融資産および金融負債による未実現利益（損失）の純変動	
投資有価証券	(10,992,628)
先物契約	213,631
買いオプション	42,682
外貨	(15,714,075)
スワップ契約	(72,123)
純利益	<u>47,317,222</u>
営業費用	
支払利息	77,074
運用報酬	4,770,624
管理事務代行報酬	198,238
監査報酬	71,990
受託会社報酬	73,036
保管サービス報酬	227,900
名義書換代理会社報酬	18,560
株主サービス報酬	19,998
弁護士報酬	10,883
その他手数料	15,661
営業費用合計	<u>5,483,964</u>
営業による純利益	<u>41,833,258</u>
金融費用	
参加型受益証券保有者に対する配当	153,827,807
源泉税控除前損失	(111,994,549)
源泉税	—
営業による償還可能参加型受益証券保有者に帰属する純資産の変動	<u>(111,994,549)</u>
包括利益合計	<u>—</u>

■ 純資産変動計算書(2017年4月1日から2018年3月31日まで)

(単位：米ドル)

期首における償還可能参加型受益証券保有者に帰属する純資産	757,806,839
償還可能参加型受益証券の発行受取額合計	167,737,529
償還可能参加型受益証券の償還支払額合計	(148,490,904)
営業による償還可能参加型受益証券保有者に帰属する純資産の変動	(111,994,549)
期末における償還可能参加型受益証券保有者に帰属する純資産	665,058,915

■ 組入上位10銘柄(基準日:2018年3月31日)

	国	通貨	種類	銘柄	利率	償還日	比率
1	チリ	米ドル	社債券	BANCO DEL ESTA 4.125% 10/07/20	4.125%	2020/10/7	2.4%
2	インドネシア	ユーロ	国債証券	REPUBLIC O 3.75% 06/14/28	3.750%	2028/6/14	2.3%
3	ケイマン諸島	米ドル	社債券	COM CELULARES (6.875% 02/06/24	6.875%	2024/2/6	1.8%
4	国際機関	米ドル	社債券	CORP ANDINA DE 4.375% 06/15/22	4.375%	2022/6/15	1.7%
5	チリ	米ドル	社債券	EMBOTELLADORA ANDI 5% 10/01/23	5.000%	2023/10/1	1.4%
6	ベネズエラ	米ドル	社債券	PETROLEOS DE VENEZ 6% 10/28/22	6.000%	2022/10/28	1.4%
7	バミューダ	米ドル	社債券	DIGICEL LIMITED 6.75% 03/01/23	6.750%	2023/3/1	1.4%
8	コロンビア	米ドル	社債券	BANCO DE BOGOTA 6.25% 05/12/26	6.250%	2026/5/12	1.4%
9	ドミニカ共和国	米ドル	社債券	AEROPUERTOS DOM 6.75% 03/30/29	6.750%	2029/3/30	1.3%
10	コロンビア	米ドル	国債証券	REPUBLIC OF CO 3.875% 04/25/27	3.875%	2027/4/25	1.2%

※比率は純資産総額に対する割合

マネープール・マザーファンド

第9期（2017年10月13日から2018年10月12日まで）

信託期間	無期限（設定日：2009年10月30日）
運用方針	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
5期(2014年10月14日)	10,048	0.1	99.6	267,830
6期(2015年10月13日)	10,051	0.0	96.1	358,819
7期(2016年10月12日)	10,048	△0.0	96.0	427,847
8期(2017年10月12日)	10,041	△0.1	95.9	470,433
9期(2018年10月12日)	10,032	△0.1	16.6	440,044

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■当期中の基準価額と市況等の推移

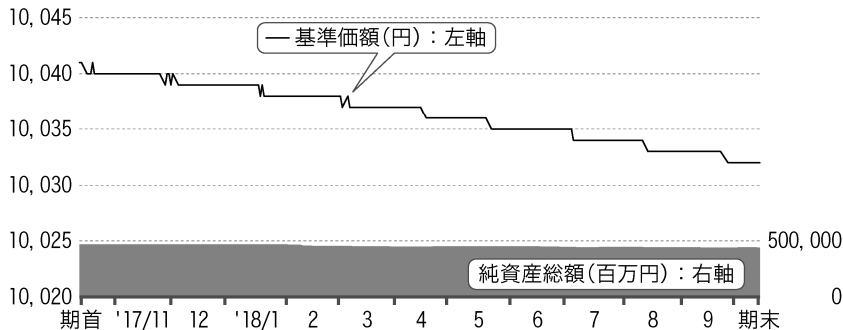
年月日	基準価額		債券組入比率
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2017年10月12日	10,041	—	95.9
10月末	10,040	△0.0	38.4
11月末	10,039	△0.0	95.3
12月末	10,039	△0.0	94.8
2018年1月末	10,038	△0.0	94.6
2月末	10,038	△0.0	25.8
3月末	10,037	△0.0	22.1
4月末	10,036	△0.0	95.1
5月末	10,035	△0.1	24.6
6月末	10,035	△0.1	21.2
7月末	10,034	△0.1	18.6
8月末	10,033	△0.1	18.4
9月末	10,032	△0.1	16.5
(期末)			
2018年10月12日	10,032	△0.1	16.6

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について (2017年10月13日から2018年10月12日まで)

基準価額等の推移



期首	10,041円
期末	10,032円
騰落率	-0.1%

▶ 基準価額の主な変動要因 (2017年10月13日から2018年10月12日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

▶ 投資環境について (2017年10月13日から2018年10月12日まで)

当期の短期金利は低下しました。

物価上昇率の伸びが緩慢であったことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。また、日銀は需給動向を勘案しながら短期国債の買入れを調整し、短期国債利回りはレンジ推移となりましたが、2018年10月以降は年末越えの運用ニーズの高まりから利回りは急低下しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、日銀当座預金付利金利である-0.10%程度を上限に、マイナス圏で推移しました。国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.171%に対し、期末には-0.311%まで低下しました。

▶ ポートフォリオについて (2017年10月13日から2018年10月12日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3カ月の円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを継続しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2017年10月13日から2018年10月12日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債利回りやコールローン翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナスで推移しています。

残存0年から1年3カ月の公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細 (2017年10月13日から2018年10月12日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	2円 (2)	0.022% (0.022)	その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数 その他 : 信託事務の処理等に要するその他費用
合計	2	0.022	

期中の平均基準価額は10,036円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2017年10月13日から2018年10月12日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 45,132,683,966	千円 45,392,643,225
	地方債証券	8,129,442	— (33,217,000)
	特殊債証券	63,047,790	— (147,796,000)
	社債証券 (投資法人債券を含む)	—	— (6,600,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※()内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

※社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2017年10月13日から2018年10月12日まで)

(1) 利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 71,177	百万円 3,464	% 4.9	百万円 —	百万円 —	% —
現先取引(公社債)	45,132,683	2,190,278	4.9	45,392,643	2,375,615	5.2

(2) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種類	買付額
公社債	百万円 1,800

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMBC日興証券株式会社です。

マネープール・マザーファンド

■ 組入れ資産の明細 (2018年10月12日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
国 債 証 券	千円 — (—)	千円 — (—)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% — (—)
地 方 債 証 券	8,143,790 (8,143,790)	8,178,529 (8,178,529)	1.9 (1.9)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	1.9 (1.9)
特 殊 債 証 券 (除く金融債)	62,313,500 (62,313,500)	62,630,987 (62,630,987)	14.2 (14.2)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	14.2 (14.2)
金 融 債 証 券	2,200,000 (2,200,000)	2,200,220 (2,200,220)	0.5 (0.5)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	0.5 (0.5)
普 通 社 債 証 券 (含む投資法人債券)	100,000 (100,000)	100,012 (100,012)	0.0 (0.0)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	0.0 (0.0)
合 計	72,757,290 (72,757,290)	73,109,749 (73,109,749)	16.6 (16.6)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	16.6 (16.6)

※()内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※—印は組入れなし。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期 末			償還年月日
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	
地 方 債 証 券	第663回 東京都公募公債	%	千円	千円	
	第664回 東京都公募公債	1.55	350,000	351,011	2018/12/20
	第666回 東京都公募公債	1.4	350,000	350,910	2018/12/20
	第668回 東京都公募公債	1.46	100,000	100,627	2019/3/20
	第668回 東京都公募公債	1.54	300,000	301,983	2019/3/20
	第675回 東京都公募公債	1.46	500,000	506,765	2019/9/20
	第9回2号 宮城県公募公債(5年)	0.23	450,000	450,117	2018/11/28
	平成21年度第5回 静岡県公募公債	1.35	197,000	199,663	2019/10/18
	平成20年度第6回 愛知県公募公債(10年)	1.71	150,000	150,325	2018/11/28
	平成20年度第7回 愛知県公募公債(10年)	1.39	210,000	210,865	2019/1/30
	平成20年度第10回 愛知県公募公債(10年)	1.48	400,000	402,656	2019/3/27
	平成21年度第1回 愛知県公募公債(10年)	1.61	100,000	100,871	2019/4/30
	平成20年度第6回 埼玉県公募公債	1.49	115,000	115,504	2019/1/29
	平成20年度第7回 埼玉県公募公債	1.48	125,000	125,685	2019/2/26
	平成25年度第7回 埼玉県公募公債(5年)	0.261	400,000	400,032	2018/10/25

マネープール・マザーファンド

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
	平成25年度第1回 奈良県公募公債	0.23	406,000	406,109	2018/11/29
	平成20年度第7回 大阪市公募公債	1.73	2,500,000	2,507,725	2018/12/17
	平成21年度第4回 大阪市公募公債	1.62	380,000	385,198	2019/8/20
	平成25年度第5回 大阪市公募公債(5年)	0.245	900,000	900,225	2018/11/22
	平成20年度第2回 岡山県公募公債(10年)	1.53	210,790	212,254	2019/3/29
	小 計	—	8,143,790	8,178,529	—
特 殊 債 券 (除く金融債)	第3回 政府保証地方公営企業等金融機構債券	1.4	1,405,000	1,408,470	2018/12/14
	第7回 政府保証地方公共団体金融機構債券(6年)	0.25	200,000	200,026	2018/10/29
	第9回 政府保証地方公共団体金融機構債券(6年)	0.32	100,000	100,189	2019/4/25
	第10回 政府保証地方公共団体金融機構債券(6年)	0.385	3,000,000	3,009,840	2019/7/24
	第7回 政府保証首都高速道路債券	1.3	100,000	100,497	2019/2/25
	第4回 政府保証阪神高速道路債券	1.3	604,000	607,460	2019/3/18
	第13回 政府保証東日本高速道路債券	1.6	108,000	108,033	2018/10/19
	第14回 政府保証東日本高速道路債券	1.4	184,000	184,504	2018/12/21
	第15回 政府保証東日本高速道路債券	1.3	167,000	167,829	2019/2/25
	第16回 政府保証東日本高速道路債券	1.3	275,000	276,658	2019/3/26
	第25回 政府保証西日本高速道路債券	1.5	100,000	101,030	2019/6/14
	第17回 政府保証西日本高速道路債券	1.3	100,000	100,394	2019/1/28
	第18回 政府保証西日本高速道路債券	1.3	200,000	201,212	2019/3/27
	第19回 政府保証西日本高速道路債券	1.4	100,000	100,730	2019/4/16
	第20回 政府保証西日本高速道路債券	1.4	100,000	101,140	2019/7/29
	第44回 日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.62	500,000	501,510	2018/12/20
	第6回 政府保証地方公営企業等金融機構債券	1.3	1,459,000	1,467,199	2019/3/15
	第7回 政府保証地方公営企業等金融機構債券	1.4	900,000	906,543	2019/4/15
	第8回 政府保証地方公営企業等金融機構債券	1.5	1,923,000	1,941,095	2019/5/24
	第55回 政府保証関西国際空港債券	1.3	210,000	211,257	2019/3/25
	第16回 政府保証中部国際空港債券	0.2	7,100,000	7,106,248	2019/2/27
	第1回 政府保証日本政策投資銀行社債	1.6	602,000	603,017	2018/11/19
	第2回 政府保証日本政策投資銀行社債	1.4	722,000	723,869	2018/12/17
	第5回 政府保証日本政策投資銀行社債	1.4	2,823,000	2,843,523	2019/4/15
	第17回 政府保証日本政策投資銀行社債	0.257	700,000	700,154	2018/11/9
	第18回 政府保証日本政策投資銀行社債	0.24	200,000	200,150	2019/1/21
	第67回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.6	737,000	737,619	2018/10/31
	第69回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.6	3,960,000	3,968,316	2018/11/28
	第71回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.4	600,000	601,740	2018/12/25
	第73回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	732,000	734,935	2019/1/30
	第75回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	301,000	302,517	2019/2/27
	第77回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	2,286,000	2,299,190	2019/3/19
	第78回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.4	2,475,500	2,494,957	2019/4/30
	第80回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.5	1,137,000	1,148,040	2019/5/31
	第82回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.5	310,000	313,375	2019/6/28
	第85回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.4	777,000	785,919	2019/7/31
	第87回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.5	2,525,000	2,559,188	2019/8/30
	第89回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	1,504,000	1,523,416	2019/9/30

マネープール・マザーファンド

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
	第91回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	286,000	289,715	2019/10/31
	第2回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.4	2,488,000	2,514,696	2019/7/12
	第5回 政府保証地方公営企業等金融機構債券	1.3	631,000	633,972	2019/2/18
	第5回 政府保証日本政策金融公庫債券	1.3	830,000	840,325	2019/9/17
	第22回 政府保証日本政策金融公庫債券	0.243	800,000	800,080	2018/10/26
	第24回 政府保証日本政策金融公庫債券	0.234	3,900,000	3,903,900	2019/2/26
	第27回 政府保証日本政策金融公庫債券	0.372	500,000	501,735	2019/8/19
	第8回 政府保証中部国際空港債券	1.3	568,000	571,192	2019/3/15
	第199回 政府保証預金保険機構債	0.1	800,000	800,008	2018/10/16
	第200回 政府保証預金保険機構債	0.1	200,000	200,042	2018/12/11
	第201回 政府保証預金保険機構債	0.1	400,000	400,180	2019/2/13
	第39回 日本政策投資銀行無担保社債	0.264	400,000	400,180	2018/12/20
	第1回 政府保証地方公営企業等金融機構債券	1.6	200,000	200,032	2018/10/16
	第1回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.5	1,110,000	1,121,433	2019/6/14
	第2回 政府保証地方公営企業等金融機構債券	1.6	1,997,000	2,000,115	2018/11/16
	第3回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.5	1,702,000	1,724,040	2019/8/16
	第4回 政府保証地方公営企業等金融機構債券	1.3	300,000	301,116	2019/1/22
	第4回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.3	774,000	783,512	2019/9/13
	第5回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.2	101,000	102,267	2019/10/18
	第8回 政府保証地方公共団体金融機構債券	0.199	1,300,000	1,300,897	2019/1/29
	第49回 東日本高速道路	0.001	600,000	599,916	2019/6/20
	第51回 東日本高速道路	0.001	1,200,000	1,199,832	2019/6/20
	小 計	—	62,313,500	62,630,987	—
金 融 債 券	い第761号 農林債	0.3	1,700,000	1,700,170	2018/10/26
	第287回 信金中金債(5年)	0.3	500,000	500,050	2018/10/26
	小 計	—	2,200,000	2,200,220	—
普 通 社 債 券 (含む投資法人債券)	第149回 三菱東京UFJ銀行	0.265	100,000	100,012	2018/10/31
	合 計	—	72,757,290	73,109,749	—

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 投資信託財産の構成

(2018年10月12日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円	%
	73,109,749	16.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	369,940,046	83.5
投 資 信 託 財 産 総 額	443,049,795	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

マネープール・マザーファンド

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年10月12日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	443,049,795,271円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	369,801,735,558
公 社 債 (評 価 額)	73,109,749,470
未 収 利 息	126,055,130
前 払 費 用	12,255,113
(B) 負 債	3,005,654,566
未 払 解 約 金	3,000,000,000
未 払 利 息	34,122
そ の 他 未 払 費 用	5,620,444
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	440,044,140,705
元 本	438,641,517,387
次 期 繰 越 損 益 金	1,402,623,318
(D) 受 益 権 総 口 数	438,641,517,387口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	10,032円

※当期における期首元本額468,533,782,581円、期中追加設定元本額7,994,868,488円、期中一部解約元本額37,887,133,682円です。
 ※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。
 ※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2017年10月13日 至2018年10月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,001,173,083円
受 取 利 息	1,055,837,853
支 払 利 息	△ 54,664,770
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 1,287,339,370
売 買 損 益	87,000
売 買 損 益	△ 1,287,426,370
(C) 信 託 報 酬 等	△ 101,239,506
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 387,405,793
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,899,683,513
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	26,781,512
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 136,435,914
(H) 計 (D + E + F + G)	1,402,623,318
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	1,402,623,318

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 ※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。
 ※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 ※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ 当期末における、元本の内訳は以下の通りです。

SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(ブラジルリアル)	144,000,000円	アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型(為替ヘッジなし)	39,857円
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(南アランド)	3,474,833円	アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型(為替ヘッジあり)	239,199円
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(中国元)	12,046,048円	アッシュモア新興国短期社債ファンド 資産成長型(為替ヘッジなし)	39,857円
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(豪ドル)	50,000,000円	アッシュモア新興国短期社債ファンド 資産成長型(為替ヘッジあり)	229,232円
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(円)	11,000,000円	BNPパリバ・グローバル金融機関ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)	1,485,087円
三井住友・公益債券投信(毎月決算型)	8,874,310円	三井住友・新興国債券トータルリターン・ファンド(為替ヘッジあり)	279,064円
グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジ型)	4,305,812円	三井住友・新興国債券トータルリターン・ファンド(為替ヘッジなし)	1,275,775円
グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ノーヘッジ型)	1,026,625円	米国優先リートファンド(為替ヘッジあり)	1,953,537円
北米エネルギーファンド(毎月決算型)	9,964,130円	米国優先リートファンド(為替ヘッジなし)	2,960,215円
北米エネルギーファンド(年2回決算型)	996,413円	三井住友・DCターゲットイヤーファンド2050	398,229円
三井住友・公益債券投信(資産成長型)	941,890円	SMAM・アセットバランスファンドVA25L3<適格機関投資家限定>	438,376,029,098円
日興グラビティ・ヨーロッパン・ファンド	9,958,176円		

■ お知らせ

<約款変更について>

- ・受益者に対してする公告を電子公告の方法によるものとするため、所要の変更を行いました。
(適用日：2018年2月1日)
- ・一般社団法人投資信託協会規則の「信用リスク集中回避のための投資制限」に適合するよう、所要の変更を行いました。
(適用日：2018年4月24日)